

 DOLBY 3D



あらゆるデバイスで、最高のメガネなし 3D を

ドルビー 3D は、エンタテインメント機器での 3D 体験全体を劇的に向上させる技術スイートです。単にメガネが不要になるだけでなく、これまで壁となってきた問題が解消され、テレビ、タブレット、スマートフォン、ノートパソコンでの 3D 鑑賞が簡単でエキサイティング、かつカスタマイズ可能になります。3D がより広く消費者に受け入れられるようお助けします。

視聴者には、最高に楽しい 3D を

ドルビー 3D は、メガネなしのフル HD 3D をくつきりクリアな画質でお届けします。この技術により、個々の機器と画面サイズに合わせてコンテンツが自動的に最適化されます。一方で、視聴者が好みに応じて 3D の強度をカスタマイズすることもできます。メガネなしのドルビー 3D では「スイートスポット」が狭いということがありません。家族や友人と一緒に視聴するときには特にその真価が発揮されます。どこに座っても、最適なバランスで快適さと 3D 効果が得られます。

ドルビー 3D では、フル HD (ブルーレイ™ 品質) での再生と、個々人の好みに応じて 3D 効果を調整できる機能により、従来型のメガネ式 3D の視聴体験も改善されます。

機器メーカーには、明確な差別化を

ドルビー 3D には、最もシャープでリアルな 3D 映像をお届けする、業界最高のディスプレイ技術が含まれます。主要コンポーネントである、ピクセル精度の変換/多視点レンダリングモジュールにより、メガネなし(裸眼立体視)ディスプレイでの表示用に、業界で最も「奥行きが正確な」3D 映像が生成されます。このモジュールには、2D コンテンツのリアルタイム 3D 変換など、各種の必須機能が含まれています。また、メガネ式 3D テレビにおいても、ユーザーが奥行きと遠近感を調整できるようになります。こうした機能により、競合のディスプレイ製品とは明らかな差別化が図れます。

ドルビー 3D ソリューションはデバイスに依存しません。このため、製品開発と結合試験を並行して実施でき、市場投入までの時間を短縮し、製造コストを削減できます。

放送事業者には、正しい道筋で、将来への備えを

ドルビー 3D により、放送事業者はついに、あっと言わせるような 3D コンテンツを一貫性をもって配信できるようになります。ドルビー 3D は、低帯域のエンハンスメント層を追加することで、ハーフ解像度の 3D 信号をフル解像度にアップグレードし、メガネ式とメガネなし機器の両方に届けます。

オペレーターおよびアグリゲーターは、帯域の効率性を維持しつつ、最高品質の 3D でコンテンツを準備、送信できます。ドルビーのソリューションはあらゆるテレビで動作するので、3D コンテンツとディスプレイが継続的に改良されていく中でも、放送事業者は安心して技術を導入できます。ドルビー 3D ではまた、どんな機器に向けてストリーミングやダウンロードでコンテンツを配信する場合でも、システム全体を最適化できます。なぜなら、エンハンスメント層に必要なデータ増分を通常 10 パーセント程度と、最小限に抑えているためです。

皆様のお役に立つ完結したソリューション

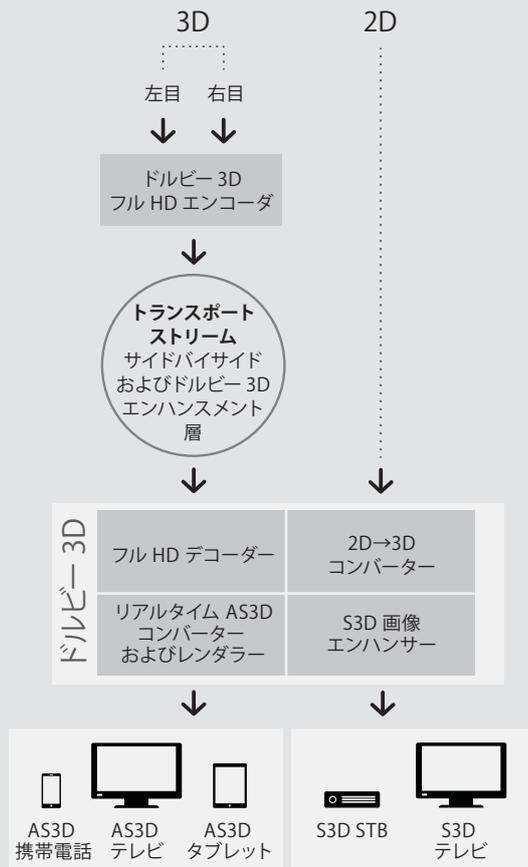
ドルビー 3D は、3D の普及を現実のものとする初のアプローチです。このエンドツーエンドのシステムは、ドルビーとフィリップス® により共同開発され、コンテンツ流通のあらゆる面に優れた効果を発揮します。すべての 3D コンテンツを高画質に、そしてドルビー 3D フォーマットのコンテンツであればいっそう高画質に楽しめます。

詳しくは、dolby.com/jp/glassesfree3d をご覧ください。

DOLBY 3D

ドルビー 3D の主要コンポーネント

- すべての H.264 機器に対応する、フレーム互換フル解像度 (FCFR) ビデオコーデック拡張
- リアルタイム (デコーダー側) での奥行き抽出 (裸眼 3D 変換) と多視点レンダラー
- 二眼立体視 (S3D) および裸眼立体視 (AS3D) ディスプレイ用の奥行き調整。ユーザー設定または自動
- 最先端のリアルタイム 2D→3D 変換



DOLBY

Dolby Japan 株式会社 | 東京都中央区築地一丁目 13-14 NBF 東銀座スクエア 3F | 電話 03-3524-7300 ファックス 03-3524-7389 | dolby.co.jp

ドルビーおよびダブル D 記号は、ドルビーラボラトリーズの登録商標です。Blu-ray は、Blu-ray Disc Association の商標です。Philips は、Koninklijke Philips Electronics N.V. の登録商標です。

© 2012 Dolby Laboratories, Inc. All rights reserved. S12/25531 J12/00007/2